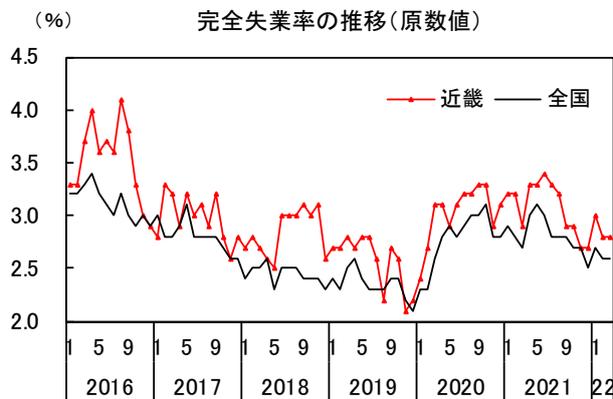
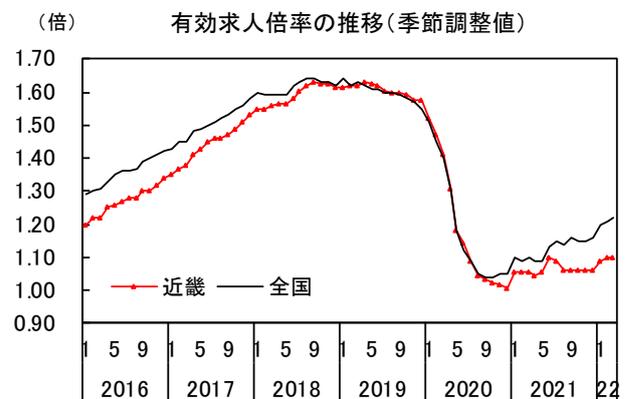


## 関西の景気ピックス【雇用関連（22年3月）】

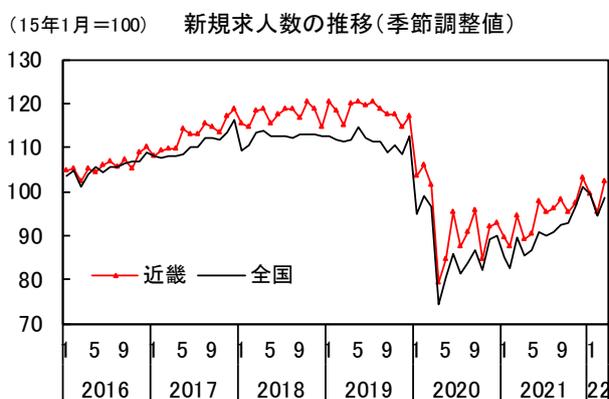
- 22年3月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は2.8%（原数値）と、前年比で0.1ポイントの低下となった。前年を下回るのは7か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で4万人の減少となったほか、失業者も1万人の減少、非労働力人口についても1万人の減少となった。失業者の減少は7か月連続、就業者数の減少は3か月連続である。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、22年2月は1.10倍（季節調整値）と前月比で横ばいとなった。
- 有効求人倍率や新規求人数の過去数月の推移をみると、概ね底を打った感があるものの、改善のトレンドは緩やかなものにとどまる。賃金の動向も大阪では直近で増加がみられるものの、コロナ前の水準は下回るなど、動きは芳しくない。依然としてコロナ禍が続く中、ウクライナ危機も長期化の様相を呈しており、先行きへの警戒が必要な状況となっている。



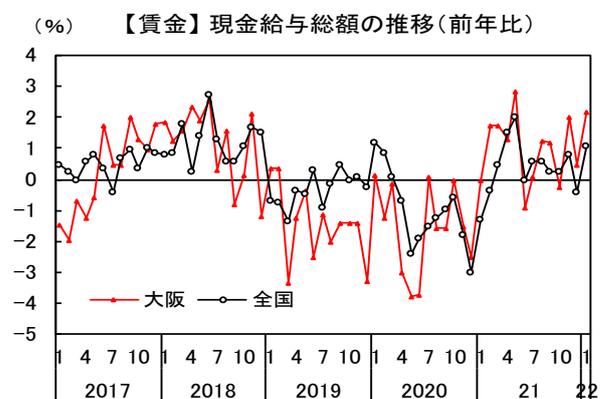
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」